本願寺山科別院

親鸞聖人御誕生八百五十年 立教開宗八百年 慶讃法要

高札立札式

期日／10月13日㈭　場所／正門前

▲ 徐幕の様子

令和五年六月十八日に修行予定の親鸞聖人御誕生八百五十年立教開宗八百年慶讃法要に向けて、その告知と機運向上のため、高札の立札式が去る十月十三日に執り行われました。

門野哲丈輪番は、「昨今の世情に関心を向けますと、自己中心的、排他的な要素が充満し孤独・孤立化が深刻な問題となっており、又、国際的にも様々な対立や紛争が絶えない状況となっております。このような世の中にあって、各々が認め合い支え合い共感する方向へとあらゆることを転換させていくことが最も大切な課題であるということが言えます。

◀ 本願寺山科別院輪番

この度の慶讃法要を、大きな機縁として、私たちは『自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現』をめざして様々な取り組みを進めていかなければならない」と挨拶をしました。

引き続き、稲岡義證・慶讃法要委員会委員長が、「大変に厳しい社会状況の中で、親鸞聖人の御誕生をお祝いし、その法縁をひろげていく責務がある。また、三月末から始まる本山の慶讃法要にお参りをして、その後、山科別院の慶讃法要にもお参りいただきたい」と述べられました。現在、法要委員会を中心に、着々と諸事の準備が進められています。

◀ 稲岡義證　慶讃法要委員会委員長

親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要 ご縁を慶び、お念仏とともに

二〇二三（令和五）年は宗祖親鸞聖人のご誕生八百五十年にあたります。また、その翌年は親鸞聖人が、『顕浄土真実教行証文類（教行信証）』を著され、浄土真宗のみ教えを開かれて八百年の記念すべき年となります。

親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要は、「親鸞聖人の説き示してくださった浄土真宗の教えに出遇うことがなければ、今の私はあり得なかったという聖人への感謝と、み教えが一人でも多くの人に伝わることの願いを込めて、聖人のご誕生を祝い、『立教開宗』に感謝する」法要です。

山科別院では来る令和五年六月十八日(日)に午前・午後の二座親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要を修行いたします。

・慶讃法要　御本典作法
・記念布教　藤野尭文師
　浄土真宗本願寺派布教使
　東海教区　桑名組　教宗寺
・記念行事　一人芝居
　丁野真美（まなみ）師による
　「恵信尼さまのお手紙」の公演。
　滋賀県長浜市小谷丁野町在住
　滋賀教区　湖北組　龍本寺

皆様のご参拝をお待ちいたしております。

詳細につきましては、決定次第お知らせいたします。

また記念事業として、太鼓楼の修復、築地塀の一部修復、御絵伝、第二十三代宗主勝如上人御影の新調をいたします。

修復中の太鼓楼

▲ 修復前の太鼓楼

▲ クレーンを使って屋根瓦をおろす風景

▲ 令和4年11月30日現在
少しずつ修復されていきます。

▲ 太鼓楼1階部分

▲ 太鼓楼の瓦をおろした
現状風景